

全道支部・部会代表者会議 組織拡大・春闘のとりくみ強化 「建交労フェスタ」に100人以上の参加めざす

4月8日に「全道支部・部会代表者会議」を開き、組織拡大、春闘、国民的課題でのとりくみ強化について意思統一しました。会議には各部会役員をふくめて14支部と北海道鉄道本部から25人が参加し、昨年秋からの職場と各業種での組織拡大の経験、職場からの賃上げ闘争と制度・政策要求にもとづくたたかいなど春闘の状況、安倍9条改憲を許さない「3000万人署名」や北海道の鉄路を守る署名運動の強化などについて討議しました。また「建交労フェスタ in 北海道」（6月15～17日）を成功させるとりくみについても、道内からの参加目標100人以上（3日間通し参加60人+1～2日目参加40人+2～3日目参加40人）を全支部からの参加でやりあげることを確認しました。この会議には中央本部の鈴木書記次長も参加しました。

全国トラック部会の新しいリーフを活用

組織拡大では、十勝建設支部の経験（前号既報）や労災職業病部会のとりくみとともに、トラック部会では全国部会が新しく作った建交労への加入を呼びかけるリーフレットを本州便の組合員がフェリーの中で手渡しして活用している経験や道東地協での統一行動の計画などが報告されました。また、道南での「学童保育」総がかり計画を成功させるとりくみについて強調され、昨年の道本部大会で決定した「純増150人以上」の目標にむけて、春の「組織拡大月間」後半のとりくみと全国大会・道本部大会にむけたとりくみの強化を確認しました。

賃上げ要求とともに春闘の課題のひとつである「無期雇用への転換」について各職場の状況が報告され、制度・政策要求にもとづく道庁・札幌市・労働局・開発局との交渉や「最賃闘争」についても議論しました。

国民的課題のとりくみでは、「3000万人署名」の推進とともに、公文書の改ざん・隠ぺいなど国政を私物化する安倍内閣の総辞職を求めるFAX集中なども確認しました。

「建交労フェスタ」成功へ第3回現地実行委員会

全道支部・部会代表者会議に引き続き、「建交労フェスタ」第3回現地実行委員会をおこないました。道本部青年部役員も加わったこの会議では、3日間の集会の流れと企画について中央本部の鈴木書記次長（集会事務局長）の説明を受け、全国から参加する仲間をしっかりと迎え入れてフェスタを成功させる地元の役割を果たす決意を固めました。

留萌で「建退共・職業病相談会」

旭川支部は4月8日に留萌市で「建退共・職業病相談会」を開きました。この日の相談者は1人で「建退共」の相談でしたが、話している中で耳が遠いようなので聞いてみると耳鳴りもするというので、「離職後に検査を受けることも考えてみる」ことになりました。